

2026 年障害の重い方の意思伝達支援勉強会

「障害の重い方のコミュニケーション支援」

主催 NPO 法人フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会

障害の重い方の主体的な生活に、コミュニケーション支援は欠かせないものになってきました。

今年度は基調講演に「ワクワクアプローチで広がる医療的ケア児の遊び」の著者大郷和成さんをお迎えし、午前と午後の2部形式（対面）で開催します。貴重な機会ですので、沢山の方の参加をお待ちしております。

〈1〉開催日時 令和 8 年 2 月 21 日（土）（対面形式）

午前の部（製作講座と演習） 10:00～12:00

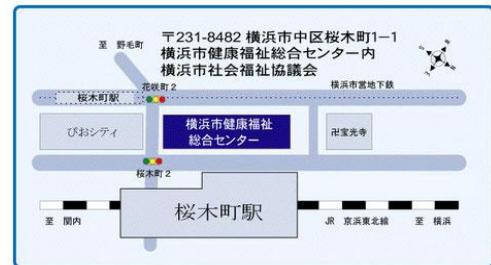
午後の部（コミュニケーション支援講座） 13:00～16:20

〈2〉研修会場

会 場：横浜市健康福祉総合センター 8 階 8A、8B

住 所：〒231-8482 横浜市中区桜木町 1 丁目 1

アクセス：JR 線 「桜木町」 駅下車徒歩 1 分



〈3〉研修内容・日程

午前の部

9:50 受付開始

10:00～11:00（製作講座 60 分）

内 容 A コース：BD アダプター、フィンガースイッチの製作

B コース：BD アダプター、棒スイッチの製作

C コース：iPad の有線のスイッチインターフェイス製作

（自由に信号を書き換えられる REVIVE USB Type-C 使用）

材料費 A コース：500 円、B コース：2,500 円、C コース：3,000 円（参加費と別途集金）

11:00～12:00（演習 60 分）

内 容 <iPad でコミュニケーションアプリの DropTap の基本操作をマスターしよう>

講 師 相澤 純一（NPO 法人 訪問大学おおきなき）

下川 和洋（NPO 法人 地域ケアさぽーと研究所）

鈴木 章裕（あっきーテックサポート）

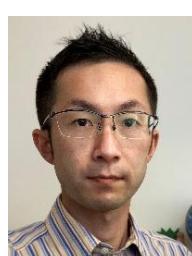


相澤 純一

（NPO 法人訪問大学おおきなき）

特別支援学校教員を経て、「おおきなき」を立ち上げ、主に支援機器を使って重い障害のある方のコミュニケーション支援に取り組んでおられます。

障害の重い方の生涯学習を担う「訪問大学おおきなき」の事務局・講師を務め、特別支援学校等では、スイッチ教材の製作講座等を担当し、子どもたちの主体的な活動の支援を行っておられます。



鈴木 章裕

（あっきーテックサポート）

特別支援学校教員時代より、肢体不自由や重複障害のある子どもへの ICT 機器の活用や教材開発に取り組んでおられます。

開発したアプリは「ごじゅーおん」「えにっき」「ぼいすぶっく」「DropTap」「DropTone」など。障害のある方も使いやすい iPad アプリ・Web アプリは、全国の学校現場で広く活用されています。SNS 名、Web サイト名は「あっきーの教材工房」。

午後の部

12:50 受付開始

13:00～ 16:20

基調講演 「ワクワクアプローチで広がる医療的ケア児の遊び」 13:00～14:30

講 師 大郷 和成 (NPO 法人 laule'a (ラウレア) 副理事長/作業療法士)

内 容 医療的ケア児の「できない」を「まだ体験していない」に変える
「ワクワクアプローチ」。微細なサインを意志として受け止め、
豊かな経験を提供することで、子どもの主体性と表現力を引き出す
実践をご紹介します。



実践報告 「誰もが参加できる音楽活動 ~Drop Tone の活用~」 14:35～15:35

講 師 鈴木 章裕 (あっきーテックサポート)

内 容 2025年6月、インクルーシブな楽器アプリ『DropTone』がリリースされました。開発メンバーの一人としてプログラミングを担当した講師がアプリの概要と、訪問カレッジの活動での実践事例を紹介します。

ま と め 「重症心身障害児者の意思決定支援は日々の関わりの中から」 15:40～16:10

講 師 下川 和洋 (NPO 法人地域ケアさぽーと研究所)

内 容 障害福祉では意思決定支援が重要なテーマになっています。ここでは、まとめとして療育活動・日中活動を計画・実施する際の配慮について演習を通して学びます。

15:40～16:10



16:10～ 16:20 まとめ・閉会



大郷 和成

(NPO 法人 laule'a (ラウレア) 副理事長
/作業療法士)

中学生の時から福祉の世界を志し、作業療法士として医療福祉の世界に20年従事。
病院でのリハビリテーションを経て、「本人や家族の生活がよりハッピーになるために何ができるか」を追求し、2015年に「遊びリパーク Lino'a (リノア)」を立ち上げました。重度障害のある子どもたちを中心に、一人ひとりの「ワクワク」を引き出す活動を展開。放課後等デイサービス事業所や生活介護事業所の運営、インクルーシブ遊具を使った「出張遊び場」など、遊びを通じて障害のあるなしにかかわらず人々がつながる場づくりに取り組んでいます。



下川 和洋

(NPO 法人
地域ケアさぽーと研究所)

都立特別支援学校で長年、訪問教育や医療的ケアなどが必要な障害の重い子どもの教育に携わり、平成24年からの「喀痰吸引等研修制度」の誕生に大きな働きをされました。
現在は、医療的ケアや障害の重い方のコミュニケーションに関する講師として全国を回られ、保護者の相談対応や、障害のある方に寄り添う教員・スタッフの人才培养に寄与されています。

<4>募集人数

- 午前の部（製作講座と演習） 15名（はんだごて等工具、iPadをお持ちの方は持参）
★各自 iPad に DropTap をダウンロードしてお持ちください（貸し出し用も数台用意します）
- 午後の部（コミュニケーション支援講座） 50名

<5>参加費 半日 1,000円（当日受付で集金します）

午前と午後の1日参加 2,000円

※午前の部参加の方は、別途、材料費が必要となります。

（材料費 Aコース：500円、Bコース：2,500円、Cコース：3,000円）

<6>参加申込み

（1）申込締め切り 令和8年2月13日（金）

（2）申し込み方法

参加申し込みフォームにアクセスして、申し込み手続きを行ってください。
なお、参加申し込みには、「●午前参加」と「●午後参加」の2種類があります。
両方参加される方は両方お申し込みください。登録いただいた情報は、この勉強会にのみに使用し、その後は破棄しますのでご了解願います。

参加申込みフォーム



※お申込いただきますと、登録されたメールアドレス宛てに申し込み確認のための自動返信メールが届きます。メールアドレスの間違いにご注意いただくとともに Gmail からのメールを受け取れるようにしてください。自動返信メールがすぐに届かない場合、事務局にお問い合わせください。

<7>お問い合わせ

NPO 法人 フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会 担当：成田
TEL:045-311-8742 FAX:045-324-8985 E メール:jimukyoku@kenshikyou.jp



「意思伝達支援勉強会」は、共同募金配分金の助成を得て実施しています。